



東アジア文化都市 2023 静岡県

Culture City of East Asia 2023 SHIZUOKA

静岡県は2023年の東アジア文化都市として、文部科学大臣より認定を頂いています。この制度は、欧州が実施する文化首都の理念を理想に創設され、欧州の様に毎年、文化の首都を決めて、文化により地域の魅力発信や国際交流を進めることで、東アジアの平和を希求し、人々の豊かさ、幸福を創造することを目指しています。

東アジア文化都市2023静岡県の「ロゴマーク」は、古来の縁起の良い結び方のあげまき結びが結ばれる直前の形をモチーフにし、三種類の色で三国を表し、青色で富士山の形、赤色と黄色で友好のハートの形を表しています。これは、静岡文化芸術大学の学生がデザインしました。

東アジア文化都市2023静岡県では、文化の範囲を、文化芸術に加え、スポーツや食文化、産業分野に至るまで広く捉えており、これまでの東アジア文化都市と比べ、広範囲に文化イベントを展開していきます。静岡県は、県立劇団SPAC、国際オペラコンクール、伊豆文学賞など、文化芸術で突出した特徴があり、まさに県内全域に文化芸術が広がる「ふじのくに芸術回廊」です。

また、スポーツでは、オリンピック・パラリンピックの会場となり、ラグビー、サッカーの両ワールドカップの会場にもなるなど「スポーツの聖地」であり、金メダリストや日本代表を多く生み出した「スポーツ王国」であります。さらに、食では全国トップの439品目の豊かな農林水産物が生産され、ホビーや家具、輸送機械産業など、生活文化につながる食文化や産業も発展しています。

左の3種類のポスターは、こうした多岐にわたる静岡県の文化の魅力を1枚では表現しきれないため、文化芸術の「SPAC俳優」、スポーツで「日本代表権田選手」、食の「お茶娘」の3つのビジュアルを採用し、広い魅力を表現しています。

東アジア文化都市2023静岡県では、単に文化芸術の祭典を行うだけでなく、欧州文化首都の理念を理想に創設されたことを踏まえ、文化で東アジアの平和を希求し、人々の豊かさ、幸福を目指すため、以下の理念に基づき行動しています。

- ① 世界の協調・共生と平和の希求（欧州文化首都の理念をつなぐ）
- ② 都市の魅力、住民の豊かさの創出（文化を都市づくりの源泉とする）
- ③ ローカル外交の再促進（Think globally, Act locally!）
- ④ アフターコロナ時代の交流の復活（インバウンド、観光の再興）
- ⑤ 持続可能社会の創造（SDGsの推進、大阪万博へつなぐ）

東アジア文化都市2023静岡県では、SDGsの精神で、静岡県の持続的発展を目指していきます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS